

情報公開文書

研究の名称	多項目遺伝子検査を活用した呼吸器感染症における検出微生物の流行実態調査と臨床的特徴の解析
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 教授 山本善裕
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>2004年1月1日～2024年12月31日の間に富山大学附属病院で多項目遺伝子検査（FilmArray® 呼吸器パネル、FilmArray/BioFire® 肺炎パネル）を受けた方（年齢・性別問わず）および、抗原検査（RSウイルス、アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ、百日咳菌）、尿中抗原検査（レジオネラ）、遺伝子検査（マイコプラズマ、レジオネラ）、抗体検査（マイコプラズマ、クラミジア、レジオネラ）で陽性となった方（年齢・性別問わず）を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>COVID-19 パンデミックをきっかけとして、当院でも呼吸器感染症の原因となる複数の微生物を同時に検出可能な多項目遺伝子検査を実施しております。従来では検出することができなかった病原微生物（ウイルス・細菌）を検出することが可能となりましたが、これら病原微生物の流行状況や臨床的特徴については多くが不明なままとなっています。本研究の目的は、呼吸器感染症を引き起こす病原微生物の一年を通じた流行状況を調査し、臨床的特徴を明らかにすることです。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>検査された方のうち、陽性となった方の割合などを各微生物毎に広く調査します。カルテ情報を用いて、臨床的特徴を解析します。</p> <p>【研究期間】</p> <p>実施許可日 ～ 2027年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>感染症あるいは診断に関係する学会あるいは雑誌にて公表します。研究結果を公表する際は、匿名化し個人情報を含まないよう十分に配慮します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>(試料)</p> <p>本研究で新たに取得する試料はありません。残余検体のみ研究に使用します。</p> <p>(情報)</p> <p>患者背景：年齢、性別、基礎疾患、生活背景など 臨床経過：症状、病歴、臨床診断、身体所見、治療内容、転帰など 臨床検査結果：検出微生物、血液学的検査、生化学免疫学的検査、画像検査、その他の微生物学的検査など</p> <p>他の施設への試料・情報の提供はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関におけ	富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 教授 山本善裕

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7246 FAX 076-434-5018 E-mail kawasuji@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 感染症科 川筋 仁史